

投資事業評価調書（継続）

部課室名	県土整備部土木局 街路課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	街路課長 加藤 善典 (大江 泰廣)	内線	4474 (4480)
------	-----------------	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	街路事業	事業名	事業区間	総事業費	44億円
		都市計画道路山吹線 (県道田寺今在家線)	姫路市西今宿 ～山吹	内用地補償費	39億円
所在地			事業採択 年度	着工年度	完成予定 年度
姫路市西今宿～山吹			H 4	H 4	H 1 7
事業の目的			事業内容		
姫路市における放射・環状道路網の整備 国道2号を介した放射状路線であり、姫路市中 心市街地と北西部市街地の連絡強化を図る。 地域づくりの支援 播磨地方拠点都市地域アクションプログラムで 位置づけあり。 よりよい生活環境の確保 歩道設置による快適で安全な歩行者空間の確保			道路改築（道路新設） L = 8 6 4 m W = 1 6 m（2車線） 用地面積 A = 13,121m <sup>2</sup>		
進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路北西部から中心市街地への交通の分散化を図るため、昭和59年度より山吹線の整備を進めているが、既に全体3.5kmのうち約2.6kmが完成供用しており、国道2号と接続する当該事業区間を残すのみとなっている。</li> <li>・当該区間は、権利者からの代替地要求が多く、その選定に日時を要したこと、土地の境界紛争や公図訂正作業等により、整備に長期間を要している。</li> <li>・現在、用地買収の進捗率は約62%であり、その進捗にあわせ工事も進捗しており、今後、順次区間を分けて部分供用を行っていく予定である。</li> </ul>				
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心 地域の活性化  快適性・ゆとり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣避難地への避難路として都市防災機能の向上を図る。</li> <li>・姫路市放射環状道路網の放射状路線として、国道2号を介して、中心市街地と北西部市街地の連絡強化を図る。</li> <li>・「播磨地方拠点都市地域アクションプログラム」（H5年度策定）に地域活性化に資する拠点地域内の幹線道路として位置づけられている。</li> <li>・本区間の現道は小中学校の通学路指定を受けており、両側歩道（幅員3.5m）を設置することにより、安全で快適な自転車・歩行者空間を確保する。</li> </ul>				
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該区間の完成により、山吹線全線が完成することとなり、中心市街地と北西部市街地の連絡が強化され、交通渋滞の緩和が期待できる。</li> <li>・費用便益比 B / C = 1 . 5</li> </ul>				
(3)環境適合性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺には、高丘中学校及び高岡小学校があり、高木植栽や透水性舗装の実施等により、通学路としても望ましい歩行者空間の形成に努める。また、切土法面については法面緑化により自然植生の回復に努める。</li> </ul>				
(4)優先性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姫路の北西部に位置し、姫路市の放射環状道路網を構成する放射状の幹線道路であり、中心市街地への交通の分散化を図り、現道の歩行者等の安全を確保するため、継続して事業を行う必要がある。</li> </ul>				
再評価の結果	継続妥当	左の理由	上記内容により継続が妥当と認められた。		